



# ポストコロナ時代をリードする 日中韓地方政府の取り組み ～第22回日中韓3カ国地方政府交流会議より～

(一財)自治体国際化協会交流親善課

## 交流会議の概要

2021年11月4日から5日にかけて、「第22回日中韓3カ国地方政府交流会議」が開催されました。

当会議は、日本、中国、韓国の3カ国地方政府間の国際交流・協力を一層促進することを目的として、自治体国際化協会、中国人民対外友好協会、大韓民国市道知事協議会が1999年より輪番制で毎年開催しているものです。

今回は大韓民国市道知事協議会が主催となり、ソウルでの現地開催とオンライン開催の併用による、初のハイブリッド形式で行われました。

日本から156人、中国から285人が視聴申し込みを行い、韓国から201人が参加する、ハイブリッド形式の長所を活かした過去最大規模の会議となり、活発な議論が展開されました。

## 開会にあたって

開会にあたって、宋河珍（ソン・ハジン）大韓民国市道知事協議会長は、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響によって開催されなかった本会議をオンラインとオフラインの併用という新しい方法により、開催することができて非常に光栄であると挨拶されました。

加えて、今後も日中韓地方政府間の交流が活発に行われるよう、さまざまな場を設けていきたいと抱負を述べ



大韓民国市道知事協議会長による挨拶

られました。

## 基調講演

平昌オリンピックの開会式総監督であり、舞台芸術作品NANTAの企画制作者である宋承桓（ソン・スンファン）氏から、「ポストコロナ時代、日中韓地方政府の文化交流の道を問う」のテーマで基調講演がありました。

講演の中で、地方政府はポストコロナ時代において各国・地域の文化を通じて新たな飛躍のきっかけを作ることが可能であると強調されました。

## 主題発表

「ポストコロナ時代をリードする日中韓地方政府の取り組み」をメインテーマに、日中韓各国の6地方政府が、ポストコロナ時代の地域経済活性化施策、地方主導型感染症対応システム構築事例を中心に主題発表を行いました。

佐賀県は、店先の歩道を活用してオープンテラスを運営するSAGAナイトテラスチャレンジを推進するなど、コロナ禍においても地域経済活性化のきっかけとなったさまざまな政策を発表し、中国と韓国の参加者が関心を示しました。

山梨県は宿泊施設、飲食店、醸造所などの施設を現地調査し、感染症対策の実施状況を認証する「やまなしグリーン・ゾーン認証」の制度の実施過程や新型コロナウイルス感染者数の抑制効果を説明し、参加者の目を引きました。

韓国の発表では、大邱広域市が無症状や軽症患者を対象に入院治療可能な「生活治療センター」を世界で初めて導入した旨を発表しました。

また、大田広域市は独自の地域通貨「On通大銭（オントンテジョン）」について発表しました。この通貨は満14歳以上の大田市民10人のうち7人が持つほど浸

透しており、1日平均50億ウォン（2021年12月現在の日本円で約4億7千万円）が使用されているという成果を発表されました。

中国側においては山東省と遼寧省による発表が行われました。防疫に力を注ぐと同時に地域経済の発展も図ろうと絶えず努力しているという事実が、両省から強調されました。

1日目の講演内容〔11月4日（木）〕
基調講演「ポストコロナ時代、日中韓地方政府の文化交流の道を問う」 発表者：宋承桓 （平昌オリンピックの開会式総監督、舞台芸術作品 NANTA の企画制作者）
主旨講演 「ポストコロナ時代をリードする日中韓地方政府の取り組み」 <b>【日本】</b> 山梨県知事 長崎幸太郎 佐賀県知事 山口祥義 <b>【韓国】</b> 大邱広域市副市長 蔡鴻浩 大田広域市科学副市長 金明寿 <b>【中国】</b> 山東省長 周乃翔 遼寧省 副省長 陳綠平

## 主題発表者による討論会

主題発表の後、壇国大学の金亨洙（キム・ヒョンス）教授を座長に、積極的な討論が行われました。

その中で、日中韓の地方政府は、いまだかつて経験したことの無い新型コロナウイルス感染症に対して各地域独自の政策を先導的に展開し、数々の困難への解決策を提示しました。

## 閉会にあたって

開催1日目の閉会にあたり、曹明宇（チョ・ミョンウ）大韓民国市道知事協議会事務総長から参加された方々への感謝の言葉がありました。

日中韓3カ国の地方政府は高齢化社会や人口減少などの同様の問題を抱えているため、国境を越えた協力関

係が重要であると強調されました。

また、今回のようにオンラインを併用することにより交流の機会を増やし、コロナ禍の困難を乗り越えることの大切さを述べられました。

## 交流の広場

2日目である11月5日には「交流の広場」が行われました。

交流の広場とは各国の地方政府同士が交流できる広場のことで、同時通訳を介して、今後の交流内容などについて協議することができます。

この場では事前に申し込んでいただいた日中韓3カ国の31地方政府が、非公開 Zoom 会議を用いて個別に協議を行いました。

## 会議を終えて

今年で22回を数える当会議は、すでに各国地方政府間の交流促進と課題解決のプラットフォームとしての大きな役割を担っています。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、残念ながら延期となりましたが、今回はその困難を乗り越え、新しい形式での初めての開催となりました。

現在のような困難な時において、最前線で対応にあたっている各国地方政府の知見や経験を共有できたことは、新型コロナウイルス感染症を収束させて地域経済を守っていく上で、施策立案の参考となると確信しています。

## 次期開催のお知らせ

2022年は、中国・江西省において対面形式で開催される予定です。今後の情報は、随時クリアのホームページなどを通してご案内いたします。日中韓3カ国の地域間交流と協力を深める絶好の機会ですので、ぜひ参加ください。



討論会中の会場の様子